

Microsoft 365 向けの包括的なバックアップ

Microsoft 365 のすべてのデータを保護

利点

OpenText Core Cloud-to-Cloud Backup による Microsoft 365 と共有ドライブデータのセキュリティ保護

- Amazon AWS S3 ストレージへの自動化されたオンデマンドバックアップにより、すべての Microsoft 365 データを保護。
- ダウンタイムコストの削減とシームレスなビジネス継続性を実現するための迅速なリカバリ実装。
- 無制限の AWS S3 バックアップと任意の時点からのリカバリによる Microsoft 365 データのセキュリティ保護。
- 暗号化された安全な不変バックアップにより、GDPR、HIPAA、FINRA、CCPA へのコンプライアンスを容易化。
- AWS 上のセカンダリーコピーと Amazon Glacier 上のターシャリーコピーを使用して、3-2-1 バックアップ戦略をサポート。
- 場所を問わずセルフサービスリカバリにアクセスし、ポイントインタイム、きめ細かなクロスユーザー復元、無制限の保存を使用して、データを確実に復元。
- ローカルアクセス用にアーカイブされたデータを ZIP 形式でエクスポート、または AWS、Azure、AWS S3 互換ストレージにエクスポートして、データの制御を再利用。

Microsoft 365 は人的ミス、悪意のある行為、サービス停止、同期エラー、ハッカー、マルウェアなどに起因するデータ損失からユーザーを保護することはできません。

損失データの復元に関する責任はユーザーにある

Microsoft はユーザーのデータをホストしていますが、セキュリティ上の脅威や偶発的な削除からデータを制御し、保護することは、ユーザー企業の責任となります。

Microsoft 365 は強力なプラットフォームですが、日次バックアップとアーカイブプロセスがありません。削除された項目を復元するためのネイティブオプションは、時間に制約があり、(既存データを上書きするという)破壊的なもので、煩雑です。さらに、手動または自動でデータがごみ箱から削除されると、そのデータは完全に失われます。

Microsoft 365 をプロアクティブに保護

企業は SaaS アプリケーションの SLA を明確に理解していないため、データが脆弱なままになっています。多くのリモートワーカーが生産性を維持するために利用しているコラボレーションおよび生産性向上アプリは、明確な目的には非常に効果的ですが、障害復旧用には設計されていません。

OpenText™ Core Cloud-to-Cloud Backup は、Microsoft 365 などの SaaS アプリケーション向けの包括的なバックアップおよびリカバリ機能を備えています。また、一元管理、きめ細かな復元、迅速なリカバリ、柔軟な保存オプションも提供します。この専用バックアップソリューションにより、IT 管理者は必要なだけの SaaS アプリケーションデータを復元することができます。

バックアップ：Microsoft 365 を包括的に保護

- メール、カレンダー、連絡先、タスク、パブリックフォルダー、共有メールボックス、SharePoint Online、OneDrive、Teams、グループ、メモを含む Microsoft 365 の全データの日次バックアップを自動化
- 訴訟ホールドのアーティファクトをバックアップ
- 要求に応じて 1 日 3 回のバックアップを実行
- 地域の規制に準拠するための AWS、Azure、AWS S3 互換ストレージへの BYOS バックアップ
- バックアップの選択：単一リポジトリとオンデマンド
- ユーザーによる手動および / または自動アクティベーション
- Microsoft グループまたは Active Directory パラメーターに基づく条件付き一括アクティベーション
- バックアップを一時停止し、非アクティブアカウントをエクスポートする機能により、ライセンスコストを削減し、オン / オフボーディングを容易に実行
- 削除されたユーザーの自動アーカイブ、およびユーザー定義の日数経過後にバックアップを削除するオプションにより、規制要件に準拠

「当社のサービスに保存している、またはサードパーティのアプリやサービスを使用して保存しているコンテンツやデータは、定期的にバックアップすることをお勧めします。」 [Microsoft サービス契約](#)

リカバリ：無制限の柔軟なデータオプション

- Exchange データをワンクリックで復元
- 履歴スナップショット / バージョンによる無制限のポイントインタイム復元
- 日付、添付ファイル、キーワードによる、スマートできめ細かな階層型のキーワード復元
- 同一または異なるユーザー / サイトへのクロスユーザー / サイト復元
- 中断のない復元、インプレース復元、バイパス復元

エクスポート：フォーマットの選択

- アーカイブを ZIP 形式でストレージにエクスポート、または S3、Azure、Box、Dropbox ストレージに直接エクスポート
- Exchange データを PST、EML、VCF 形式でエクスポート
- Microsoft Teams データをオフライン表示用に HTML 形式でエクスポート

セキュリティ：監査に対応した厳格な資格情報

- Microsoft 365 のダウンタイム時に高可用性を実現するための Amazon S3 データストレージのセキュリティ保護
- ISO 27001、HIPAA、GDPR に準拠
- 多要素認証のサポート
- 保存時の AES-256 データ暗号化と転送中の HTTPS 暗号化
- ランサムウェアリカバリのための不変ストレージオブジェクトロック (オプション)
- 削除されたバックアップに対する 7 日間のリカバリ猶予期間
- 99.9% のアップタイム / 可用性 SLA

ユーザビリティ：直感的な UX と高度なユーザー管理

- すべての SaaS プラットフォーム (Microsoft 365、Google Workspace、Salesforce、Box、Dropbox) をバックアップするための単一のダッシュボード
- すぐに使用できるセットアップと保守にかかる労力の削減
- 複数の管理者に対する緻密なアクセス制御
- すべてのエクスポート、復元、バックアップのドリルダウンビューを備えたフィルタリング可能な監査ログとアクティビティログ
- 日次バックアップのサマリレポートと、トラブルシューティング用リンクをインラインに埋め込んだバックアップ例外に関する電子メールアラート

バックアップの範囲

Microsoft 365 データ (メール、カレンダー、連絡先、タスク、メモ)、SharePoint Online、OneDrive、Office のグループと Teams

バックアップストレージ

- AWS S3 ストレージ
- BYOS : AWS、Azure、AWS S3 互換ストレージのバックアップ

維持

無制限 - カスタム構成が利用可能

互換性

すべての Microsoft Office 365 プラン

バックアップの時間と頻度

- 毎日 0:00 UTC (デフォルト)、またはユーザー指定の時間にバックアップ
- 要求に応じて 1日 3回のバックアップ

バックアップデータセンターのロケーション

- アジア太平洋：オーストラリア、インド、日本、
- ヨーロッパ：フランス、ドイツ、アイルランド、英国
- 北米：カナダおよび米国
- 南アフリカ

- 柔軟な従量課金制または年額の価格設定モデルによる OpenText Core Cloud-to-Cloud Backup は、強力なサイバーレジリエンス戦略の一環であり、組織がサイバー攻撃や偶発的なデータ損失に耐え、迅速に復旧できるようサポートします。OpenText™ のセキュリティおよびバックアップソリューションは、サイバーセキュリティをシンプルにします。

詳細情報： [OpenText Cloud-to-Cloud Backup](#) >